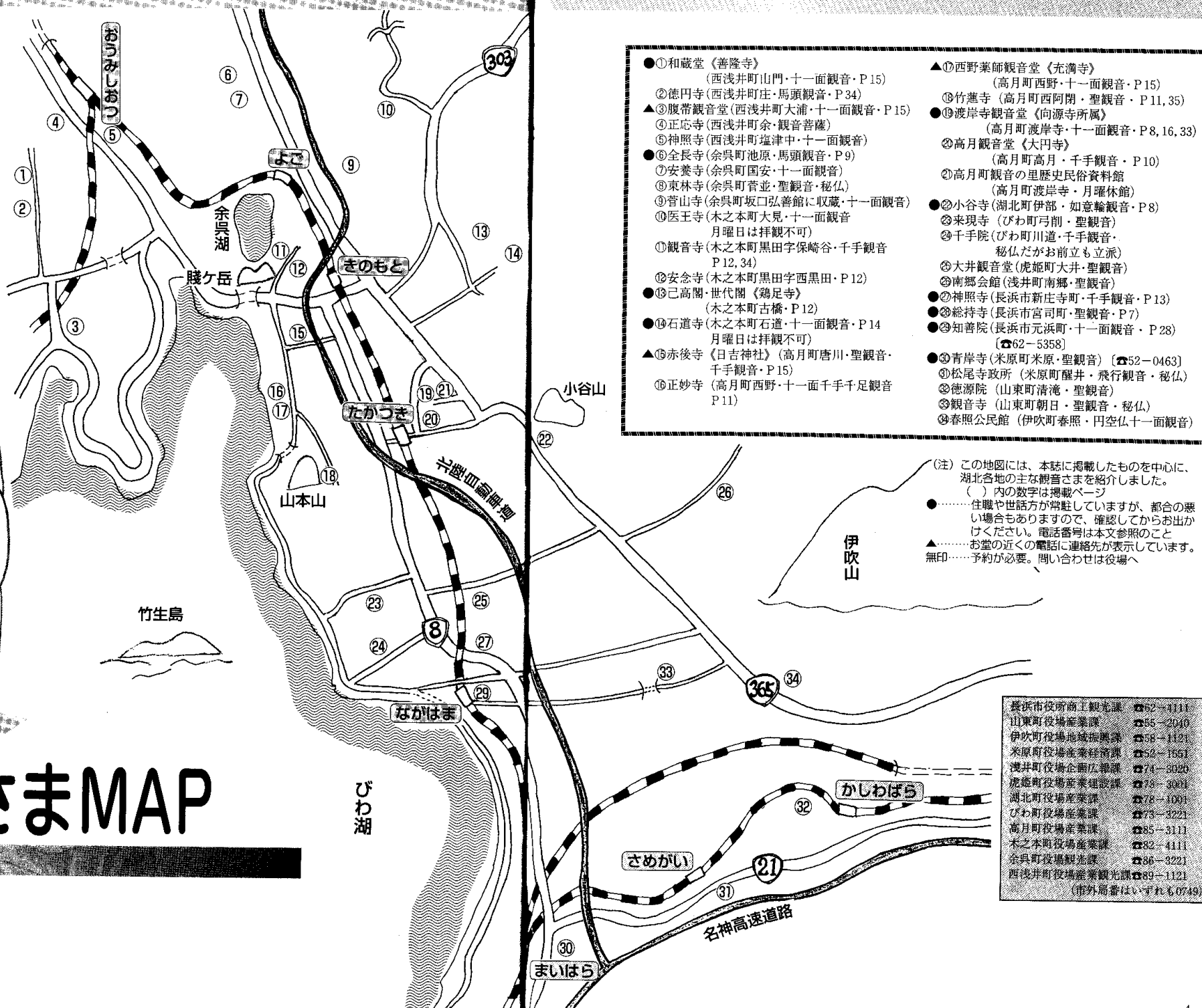


湖北 観音さまMAP



- ①和藏堂《善隆寺》
(西浅井町山門・十一面観音・P 15)
- ②徳田寺(西浅井町庄・馬頭観音・P 34)
- ▲ ③腹帯観音堂(西浅井町大浦・十一面観音・P 15)
- ④正応寺(西浅井町余・観音菩薩)
- ⑤神照寺(西浅井町塩津中・十一面観音)
- ⑥全長寺(余呉町池原・馬頭観音・P 9)
- ⑦安養寺(余呉町国安・十一面観音)
- ⑧東林寺(余呉町菅並・聖観音・秘仏)
- ⑨普山寺(余呉町坂口弘善館に収蔵・十一面観音)
- ⑩医王寺(木之本町大見・十一面観音
月曜日は拝観不可)
- ⑪観音寺(木之本町黒田字保崎谷・千手観音
P 12, 34)
- ⑫安念寺(木之本町黒田字西黒田・P 12)
- ⑬己高閣・世代閣《鶏足寺》
(木之本町古橋・P 12)
- ⑭石道寺(木之本町石道・十一面観音・P 14
月曜日は拝観不可)
- ▲ ⑮赤後寺《日吉神社》(高月町唐川・聖観音・
千手観音・P 15)
- ⑯正妙寺(高月町西野・十一面千手千足観音
P 11)
- ▲ ⑰西野薬師観音堂《充滿寺》
(高月町西野・十一面観音・P 15)
- ⑱竹蓮寺(高月町西阿閉・聖観音・P 11, 35)
- ⑲渡岸寺観音堂《向源寺所属》
(高月町渡岸寺・十一面観音・P 8, 16, 33)
- ⑳高月観音堂《大円寺》
(高月町高月・千手観音・P 10)
- ㉑高月町観音の里歴史民俗資料館
(高月町渡岸寺・月曜休館)
- ㉒小谷寺(湖北町伊部・如意輪観音・P 8)
- ㉓来現寺(びわ町弓削・聖観音)
- ㉔千手院(びわ町川道・千手観音・
秘仏だがお前立も立派)
- ㉕大井観音堂(虎姫町大井・聖観音)
- ㉖南郷会館(浅井町南郷・聖観音)
- ㉗神照寺(長浜市新庄寺町・千手観音・P 13)
- ㉘総持寺(長浜市宮司町・聖観音・P 7)
- ㉙知善院(長浜市元浜町・十一面観音・P 28)
【☎62-5358】
- ㉚青岸寺(米原町米原・聖観音)【☎52-0463】
- ㉛松尾寺政所(米原町醒井・飛行観音・秘仏)
- ㉜徳源院(山東町清滝・聖観音)
- ㉝観音寺(山東町朝日・聖観音・秘仏)
- ㉞春照公民館(伊吹町春照・円空仏十一面観音)

(注) この地図には、本誌に掲載したものを中心に、湖北各地の主な観音さまを紹介しました。
() 内の数字は掲載ページ
● 住職や世話方が常駐していますが、都合の悪い場合もありますので、確認してからお出かけください。電話番号は本文参照のこと
▲ お堂の近くの電話に連絡先が表示しています。
無印..... 予約が必要。問い合わせは役場へ

長浜市役所商工観光課	☎62-4111
山東町役場産業課	☎56-2040
伊吹町役場地域振興課	☎58-1121
米原町役場産業経済課	☎54-1551
浅井町役場企画広報課	☎74-3020
虎姫町役場産業課	☎73-5003
湖北町役場産業課	☎70-1003
びわ町役場産業課	☎73-3223
高月町役場産業課	☎85-3111
木之本町役場産業課	☎82-4111
余呉町役場観光課	☎86-3221
西浅井町役場観光課	☎89-1121
(市外局番はいずれも0749)	

観音様は女性ですか

細かく言うと、仏様は仏陀、つまり如来のこと。修行をして悟りを得た覚者で、釈迦如来のほかに阿弥陀如来、大日如来などがあります。でも、一般には菩薩や明王（不動明王、愛染明王など）、天部（四天王、仁王、弁財天など）、羅漢、高僧なども仏像に含めています。観音像は菩薩のなかに入ります。

なぜ観音というのですか

自ら悟りを得ようとがんばっておられ、なおかつ衆生をも救いに導こうと修行しておられるお方です。庶民にいちばん親しみのある仏様ですね。代表的なのが、観音菩薩や地藏菩薩、弥勒菩薩などです。

観音様にはどんな種類がありますか

もともとインドの観音信仰は、聖観音が基本になっていますが、六道の輪廻から人々を救済するという浄土思想が広まって、六観音がつくられるようになりまし。その後は来世の救済を説く浄土信仰よりも、天台や真言の現世利益を説く密教思想が盛んになって、独自の六観音の信仰が生まれました。その種類は次のとおりです。

- 地獄界→聖観音
- 餓鬼界→千手観音
- 畜生界→馬頭観音
- 修羅界→十一面観音
- 人間界→准胝観音（天台系は不空羅素観音）
- 天上界→如意輪観音

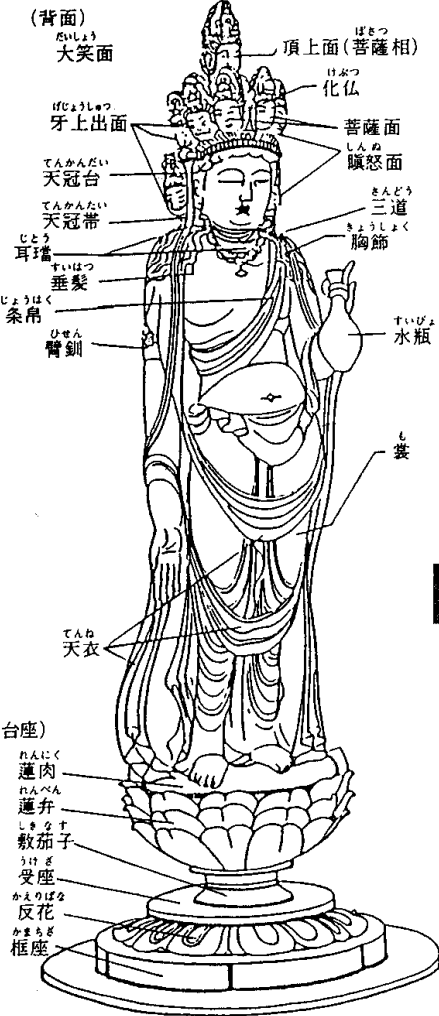
天平時代に創始されて以来、今日まで連続と続けられています。

観音様は女性ですか

女性でも男性でもありません。でも、渡岸寺や石道寺などの十一面観音様を見ていると、こころもちひねった腰、豊かな胸、やさしい緊張感に満ちた指、ふくよかな表情、これはもう古代アリアとモンゴロイドの美女を合わせたハーフの美女ですね。

観音様は三十三の姿に変化されるのですか

観音信仰の根本教典「法華経・普門品」には、観音が人々を救済するため、三十三の姿に身を変えろという思想が述べられています。古代インドの神話「リグ・ヴェーダ」には、天・空・地界のそれぞれに十一の神がいて、三界を合わせて三十三神が住んでいると説かれています。この数が法華経にも受け継がれたわけ



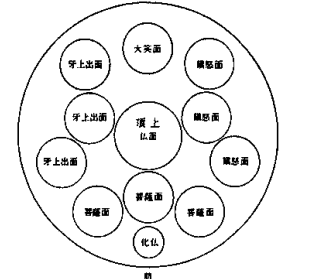
■参考文献■
「仏像—種類とかたち—
観音さまとは（展示解説）」
（高月町観音の里歴史民俗資料館）

■協力■（敬称略）
梶村 睦親（日本画家）
佐々木悦也（高月町観音の里歴史民俗資料館学芸員）

なぜぞ事典

観音さま

〈十一面観音頭上面配置図解〉



本面……菩薩本来の慈悲の相
頂上仏面……究極の理想としての悟りの相
化仏……十一面観音が阿弥陀仏の慈悲の心（阿弥陀）を實踐する菩薩であることを示す
菩薩面……善い衆生を見て慈悲の心をもって衆を救す
慈面……悪い衆生を見て慈りをもって仏道に入らせる
怒面……浄らかな行いの者を見て諷諭して仏道を勧める
笑面……善悪雑沓の者を見て悪を改め仏道に導く

魚籃観音とはどんな観音様ですか

上記の六観音のほかに、中国で道教の影響を受けて生まれた観音様もあります。これが魚籃観音です。唐の時代、魚の行商をする美女が法華経の信者に嫁いだが、この美女こそ観音様だという説話が広まりました。手に魚籃（びく）を持っています。

十一面観音とはどうして十一の顔をもつのですか

「リグ・ヴェーダ」にもあるように、古代インドでは十一の神がいると信じられてきました。十一面観音は、六世紀ごろインドで成立しましたが、インドの民間信仰と仏教との習合を示しています。日本の十一面観音信仰で有名なのは、東大寺の修一会（お水取り）です。

す。この数に基づいて制定された西国三十三ヶ所観音巡礼は有名ですね。

観音様はいろんな装飾を付けていますか

悟りを得て超然とした如来は、粗末な衣をままとついでありますが、観音様は、瓶や花を持ち、美しい衣裳を着飾っています。現世利益の象徴といえるかもしれません。

湖北にはなぜ観音様が多いのですか

天平時代から平安時代前期にかけて、木之本町の東にそびえる己高山は、山岳信仰のメッカでした。奈良時代に高僧行基と修験者泰澄が山を開き、平安時代には天台密教の祖最澄が七堂伽藍を築きました。この己高山の周辺に多くの寺院がつけられ、観音信仰が広まったのでしよう。高月町や木之本町にとくに多いのは、この影響だと思われれます。